

令和3年 湖西市議会6月定例会

市長あいさつ

令和3年6月2日

皆様、おはようございます。

本日から令和3年6月湖西市議会定例会が開催されるにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

6月に入り、梅雨空、蒸し暑い日も続くようになりました。今年は、5月16日に梅雨入りし、これは、過去2番目の早さだそうです。そのような中でも、目の前にある新型コロナ対策、そして湖西市の持続可能な発展のため、「職住近接」に繋がる政策を着実に進めていきたいと思っております。

(新型コロナウイルス対策等)

まず、新型コロナウイルス関係につきましては、昨日(6/1)までに合計189名の陽性が公表されました。GW明けの感染者数増加により先月「感染拡大緊急警報」の発令や、飲食店への時短要請を行った時に比べれば、数字的には落ち着いてきています。ご協力いただいた飲食店はじめ市民の皆さまに、改めて感謝申し上げます。しかしながら、直近でも引き続き、推定感染経路として、変異株による家庭内や職場における感染も報告されており、今月1日からは「感染拡大注意報」により、引き続き気を緩めず、手洗い消毒、マスクの着用など、基本的な感染拡大防止の行動をお願いさせていただいているところです。皆様におかれましては、噂など不確かな情報に惑わされることなく、正確な情報に基づき、冷静な行動をしていただくとともに、差別や誹謗・中傷などは絶対にしないよう、どうかお願いいたします。

また、4月からの愛知県等における「まん延防止等重点措置」や現在も続いている「緊急事態宣言」に伴う、不要不急の外出・移動の自粛等の影響を受け、県境のまちとして、飲食店だけでなくサービス業に従事する多くの方々から、支援のご要望をいただいております。今般、時短要請以前から商工会はじめ関係者の方々とは検討してきた、売上げが一定程度減少している第3次産業の方々に対する給付金、県の安全・安心認証制度と連携した奨励金、感染防止対策の強化に対する「サポート補助金」の増額など、湖西市独自の追加支援策についての方針を決定し、今議会の補正予算で提出させていただき準備しております。国や県よりもきめ細かく、かつ財政状況にも配慮し、感染拡大防止と社会経済活動の両立のための対策に、ご理解を頂ければと思っております。

また、ワクチン接種につきましては、65歳以上の方々への集団接種の開始から間もなく1か月となります。2回目までの接種間隔につきましては、

浜名医師会はじめ関係者の皆様の大変なご尽力等により、前倒しの接種が可能となり、国が示します7月末までの2回接種の完了に向け、接種が進んでおります。医師や看護師、薬剤師、保健師はじめ関係者の方々には、診療所など本業と並行して連日ご協力いただいております、改めて感謝申し上げます。

今後は、基礎疾患のある方、64歳以下の方々への接種と順次接種することとなり、現在そちらの準備を、同時並行で進めています。長丁場となり、かつ迅速に接種を進めるため、企業や学校などでも前向きに接種に取り組むことが、先週末の河野太郎大臣と首長有志とのオンライン会議でも共有されました。接種従事者の確保など、乗り越えるべき課題はありますが、モノづくりのまちとして企業が多く立地する湖西市としても、具体的な方策につき早急に詰め、迅速な接種により、安全・安心な日常を、一刻も早く取り戻していきたいと考えています。

（「職住近接」のための新規・継続事業等）

さて、本年度から第6次湖西市総合計画がスタートいたしました。「『ひと・自然・業（わざ）』がつながり 未来へ続く わがまちKOSA I」をキャッチフレーズに、持続可能な発展のため「職住近接」を推進してまいります。推進にあたり、令和3年度に新たに予定している事業等につきまして、いくつかご説明させていただきます。

「職住近接」における住環境については、畜産臭気対策が、従来から大きなテーマです。先月、従来からの対策を拡充・加速するため、庁内横断的な「畜産臭気対策チーム」を立ち上げ、畜産臭気抑制に向けた「ローラー作戦」を展開することといたしました。今後の事業展開につき、畜産事業者の皆様とも意見交換させていただき、前向きなお話をいただいております、市内の全養豚場で、行う作業と臭気の関係性を詳細に調査し、対応する改善策を検討し、実施してまいります。

教育に関しては、全国的に児童・生徒数の減少が進んでいます。湖西市においても、2月の総合教育会議で、約5年後、令和8年4月には、小学校に入学する児童数が1桁になる学区も予想されるとの報告があり、学校の適正規模および配置についてご議論いただき、早急に現実的な対応が迫られています。これらを踏まえ、「学校教育施設適正化検討委員会」を設置

し、第1回を6月14日に開催する予定です。

子どもたちにとって、学校行事や部活動、集団生活による社会性を身に付けていくことなど、より良い教育環境の実現を第一に、地域のコミュニティ機能にも配慮しつつ、議論を深め、現実的な方策を実行していきたいと考えています。

また今年度は、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進元年ともいえます。2月に「湖西市デジタルファースト宣言」を行い、「市民向けサービスのDX推進」「行政運営のDX推進」「DXを実現するための環境整備」の3つの基本方針のもと、新たにDX推進課を設置し、湖西市DX推進計画の策定を進めています。4月の市税などのキャッシュレス化から始まり、手数料・使用料等の支払いも8月のサービス開始を予定しています。今後は公共施設のオンライン予約、更には次のステップとして、LINEやAI、ビッグデータの活用により、例えば交通事故防止や災害対策、道路などのインフラ管理をはじめ、幅広い分野における地域課題の解決や市民サービスの向上を図る、デジタル・スマートシティの実現を進めていきます。

もう一つ、「カーボン・ニュートラル（脱炭素）」の推進も、国および世界の潮流からも、モノづくり産業が柱である湖西市にとって、推進元年といえます。環境と産業の持続可能な未来を実現するため、「湖西版ゼロ・カーボンシティ」の検討を進めており、地域内資源循環社会の構築に向け、企業とも引き続き連携し、再生可能エネルギー導入支援など、具体的な政策を推進していきます。

更には、防災関連においても、津波避難施設空白域を解消するための高師山地区津波避難タワーが、10月末完成に向けて整備を進めています。また、年度末に策定した立地適正化計画に合わせ、津波・防潮堤につき、初めて定量的なシミュレーションができました。今後は現実的にどのような手順と方策で進めていくべきか、沿海部はもちろん、多くの市民の皆さまや県・国などと議論を重ねていきます。

また、市民会議のご議論をいただきロードマップを作成した、市民交流複合施設についても、コロナ禍などによる社会経済状況の変化に伴い、文化協会をはじめ各種団体、高校生など幅広い方々による意見交換会を行っ

ていただき、ご報告をいただきました。コロナ禍による税収減や警察署の移転による物理的な連携など、今回の報告書を踏まえ、新居地域センターを、利用者の方々にとって使い勝手よく、文化振興の拠点と出来るよう改修し、また老朽化した市役所庁舎を、防災拠点機能の充実や消防署の建て替えとも合わせて早急に検討し、市民サービスの向上に向け、実行に移します。

(むすび)

これまでも繰り返し申し上げている通り、「職住近接」の実現のためには、短期でなく中・長期的な取組が必要です。①安全・安心、医療福祉、②子育て・教育の充実、③産業振興、④観光・シティプロモーション、の4本柱はもちろんですが、

- ・モノづくり人材育成、産業ネットワークの構築
- ・宅地や商工業施設造成のための、土地の利活用促進

についても、現下のコロナ禍においても、関係者との意見交換や制度設計など、不断の取組を進めているところです。

先日、出前授業として鷺津中の3年生に、湖西市の現状や未来への取組についてお話しさせていただきました。湖西市にちなんだクイズを取り入れたこともあってか、産業・観光、環境、学校、DXなど、多くの反響をいただき、未来を担う子どもたちと、非常に有意義な時間を過ごさせていただきました。

令和4年(2022年)1月1日に、湖西市は記念すべき市制50周年を迎えます。現在、「市制施行50周年記念事業推進本部会議」をはじめ若手職員で作るプロジェクトチームや関係団体、市民の皆様からの意見などを参考に実施計画を策定しています。市民の皆さんの思い出に残り、また50周年を契機として、更に湖西市が元気になり、市民の皆様が参加・継続したいと思えるような、魅力的なイベントや取組を実施し、「職住近接」に繋がってまいりたいと思います。

さて、本定例会に提案させていただきます案件は、先ほど申し上げた、新型コロナ対策への事業者支援の補正予算など、合計16件でございます。皆様方におかれましては、引き続き、湖西市の持続可能な発展に向け、建設的かつ前向きなご提案やご議論を改めてお願いし、私のあいさつとさせ

ていただきます。
ありがとうございました。

(以 上)